

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 (児童発達支援)

事業所名 キッズステーションわくわく

公表日 令和8 年 2月 20日

利用児童数

令和7年12月1日

回収数 96%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2			狭いスペースに仕切りが多くて圧迫感があります。	基準以上のスペースを確保し、利用児が快適に過ごせるよう配慮しています。活動に応じて利用するスペースを分けたり、お子様の特性に配慮して、パーテーションを設置するなど集中できる環境設定を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				配置基準よりも多く職員配置を行っています。保育士、理学療法士、言語聴覚士等を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2				スケジュールボードなどで視覚的提示を行い見通しが特るように配慮しています。また、車椅子の方に対応した玄関のスロープやトイレに手すりなど設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1				日々の掃除を徹底させるとともに、感染症対策としてアルコール消毒や、換気、空気清浄機、感染症対策エアコンフィルターなど設置し管理を徹底しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					内部外部の研修や、関係機関から助言を受けたり、大分県発達障害者支援センターECOALさんからのスーパーバイザーの派遣を依頼したり、スーパーバイザーの研修や講演会に参加し、職員一人ひとりが専門性を高めるために自己研鑽に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				日頃から家庭や関係機関と情報を共有し、お子様の意思や保護者様のニーズ課題等分析し個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1			人数が限られているので、急な対応ができないので、スケジュールが合わせるのが大変です。時間も短いのでつめつめな感じがする。本当にできているか疑問です。	災害などのやむを得ない事情を除き、原則として1日の利用定員が決まっていますのでご理解をお願い致します。毎回、ガイドラインの子どもに必要な支援の項目から選択し計画された、専門的支援（ST、PT等）を個々に応じて一定時間の支援を行っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1				職員間で新しい課題に関しても細かく周知徹底し、情報を共有し、同じ支援ができるように努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		1		個々の個別課題を理解し、計画に沿った療育内容の設定、季節を感じられる活動など、マンネリ化しないように今後も継続していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	1	1	1		夏祭りなど、行事によっては地域の託児所との交流があります。活動で公園に行った際に、地域の託児所のお子さまとあそぶ機会もあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1			簡素化できるところはしてもらいたい。文章をただ読むのは自宅でもできる。	ご意見ありがとうございます。制度上、書類によって保護者さまへ説明の義務がございます。後のトラブルを防ぐためにも、お時間をいただくことがございますのでご協力をお願いいたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1			兄弟がいる場合、参加できない。1度も利用できなかったことがない。	今年は兄弟と一緒に参加できるイベントや、外部講師を招いたペアレント・トレーニングも実施しています。電話やLINEなどで情報共有を行なっていますが、今後は年間計画を早めに設定し、早めに保護者様へお知らせしたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24					利用中の様子等をLINEや写真・動画でわかりやすく状況を伝え共通理解ができるよう努めています。必要に応じて電話連絡や面談を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22		1	1		面談を定期的に行っています。必要に応じて、関係機関との連携も行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23		1			連絡帳(ライン)でのやり取りや、来所時などお子様の様子など情報を共有しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22		1	1		お子様と保護者参加のイベントや、今年度は、きょうだいも参加できるイベントも実施しました。 今後も、きょうだいや保護者同士の交流の機会が設けられるように努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23		1			契約時に相談窓口の説明をしてお知らせしています。電話やラインなど相談や申し入れについては迅速に対応しています。場合によっては、関係機関との連携も必要になりお時間をいただくこともあります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				SNS(ライン)を通して利用日の様子を保護者様へ写真や動画でお伝えしています。また、家庭での困り事や情報の伝達等ができるよう心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	1	1		通信(わくわくだより)を月1回発行しています。 また、LINEや、毎月の予定表で活動や行事予定などをお伝えしています。
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				利用者がわからないので、写真のスタンブ☆などで顔を消しているのでもければ、見えるように幅を広げてほしい。スーパーや公園で声をかけられたら、誰かわからないので。	個人情報の取扱いに十分に留意しているため、他のお子様の写真の顔出しはしていません。保護者さまの意向もありますのでご理解願います。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1				緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、各種のマニュアルをいつでも閲覧できるようにしています。また、マニュアルをもとに職員研修や訓練を定期的に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1			先日の熊本での地震で緊急地震速報が鳴った時にとっさに子どもがテーブルの下に隠れました。あとで聞いたら、『わくわくで教えてもらった』と言っていました。	2ヶ月に1回の避難訓練、保護者引き渡し訓練を年1回行い、災害時に備えています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1				安全計画について周知し、職員研修でマニュアルの確認を定期的に行っています。
満 足 度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		1		速やかに保護者さまに連絡を取り、説明と対応方法を伝えています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1				職員との信頼関係を築き、安心して通所して頂けるように努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1				「笑いの中に療育を」の企業理念のとおり、こどもたちに楽しんで笑顔になる取り組みを今後も続けて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			いつも子どもの気持ちに寄り添ってくださったり、個々に応じた支援をしてくださっています。	お子さまが楽しく過ごす中で【できる】ことが増え、保護者様と共に喜び合える支援を今後も行っていまいります。